

意見交換会実施報告書

開催日時		平成24年12月4日（火） 午後7時00分 ～ 午後8時30分
開催場所		石越公民館（研修室）
出席議員	代表者	武田 節夫 司会者 相澤 吉悦
	報告者	岩淵 勇一、 佐藤 尚哉
	記録者	岩淵 正宏
参加市民数		12人
実施内容報告	議会報告	○ 議会、議員活動について ○ 議会改革推進会議について ○ 議員定数について ○ 議員報酬について
	意見交換	（議員定数について） Q 現状の説明を受けたが具体的内容の説明を。 A 議会も市民の要望に答えていこうとなりました。広く市民の意見を受け、改革委員会に図るものです。 Q 少なくともいいのではないか。 A 現状維持から6人減まで意見が出でいます。 Q 今日のメインテーマは議員定数だが論拠は。 A 少子高齢化を見据え、栗原市、石巻市他でも行っています。本市でも進めなければならないのではないかと行革は待ったなしです。合併時10万人から現在8万5千人になり、職員も450人減の計画です。議員も減らさなければならないのではないのでしょうか。 Q 他でしているから、“おらほ”もしなくてはと聞こえる。経費削減が第一か。 A 一番は社会資本の整備と考えます。人件費の改革を当然しなければなりません。職員だけに負わせられないと思います。 Q 民意の反映は。 A 2,861人に対し1名の登米市議員で、民意の吸い上げができるものと思います。 ○ 意見交換をしてくれて敬意を表する。財政を考えたときは、人件費の削減を自発的にすべき。少数精鋭で20人でもいいのではないかと。議員数が多いから民意が反映するとは限らない。あらゆる産業が不景気、給与を下げてでもいいのでは。 ○ 前者とは逆に多いほうがいい。報酬を下げ、無駄を減らすべき。 ○ 減らすべきではない。民間の企業に合わせ報酬を削るべき。 ○ 国会議員も定数を減らす。日本は6番目に多いという。アメリカに合わせる必要はない。定数よりも報酬減にし、本当の民主主義を目指すべきだ。 ○ 定数減よりも定数増にして、発展する登米市になってほしい。 ○ 現状維持でいい。町によっては議員がいなくなることもありうる。そうなっ

		ては困る。そのかわり、報酬削減。 (その他の事項) Q 報酬と政務調査費は。 A 表(資料)のとおりです。政調費は一人あたり月 25,000 円で活動しています。 Q 午前中は休憩なしにできないのか。 A 2時間とおしては困難です。どこの議会でも1時間ごとに休憩しています。議会運営委員会及び改革推進会議で検討してみます。 Q 総合支所のあり方についてそれぞれどう思っているか聞きたい。 A ①予算も含めて支所独自の権限があってもいいと思います。地元出身の職員が多いほうがよい。何にでもすぐ対応できる、体制づくりを望みます。 ②人員削減は財政の向上になりますが、サービスを向上させようとするすると財政負担は増えます。 ③本庁との連携が悪く、スピード感をもって動くには権限と予算が必要です。 ④権限がありません。職員は支所長よりも本庁の支持で動いています。市長は将来、窓口だけにするかもしれません。 Q 職員給与の統一はなったのか。石越が最低なのでは。何年かかるのか、米山は高い。 A 当然あわせなくてはいけないものと思います。是正はしています。 Q 住民バスの利用の実態は。空のまま走っているのをみかける。 A コースの検討は随時していると思います。 ○ 視察は大切だと思うが、自分の報酬内ですべき。 ○ 指定管理を委託された職員は月 10 万ほどの給料だ。地域の手本になるような人が頑張っている。月 13 万円を貰ったら議員をやってもいい。 ○ 任意の審議会が 100 以上ある。1 回一人 5~6000 円の費用弁償(報酬)がかかる。それも整理すべきではないか。 ○ バスが夏も冬もエンジンをかけっぱなしで停まっている。無駄は慎むべき。
	要望・提言等	○ 選挙で選ばれるので、どのような人が選ばれるかわからない。削減し、努力しようとする意気込みは認めたい。 ○ 支所の問題についてはわかりやすい行政体制を望む。(どこに相談にいけばいいのか)
	その他 特記事項	